西多摩農業改良普及センターからのお知らせ

台風対策をしましょう

主任普及指導員　原島 浩一

夏がやってきました。今のうちから台風に備えて準備を進めましょう。
「備えあれば憂いなし」です。準備は万全か、もう一度確認してみませんか。

1　普段からの準備

排水路の点検と清掃（写真1）をします。また、不要な資材等が置いてあると風で飛ばされて被害が起きることがあるので片付けも重要です。必要に応じ、溝切り、畦立ての準備も行います。さらに、土が崩れやすい場所があれば土のうを準備します。

施設ではドアや天窓等の戸締まり具合の確認、取り付け金具の確認、抑えひもの締め直し、筋交いや支柱等による施設本体の補強、ツマ面の補強等も可能な限り実施します。鉄骨の施設ではボルトが緩んでいないか点検を行います。

写真1　排水路の点検清掃

2　台風直前対策

露地野菜では可能な限り土寄せをします。支柱やネットを使用している作物は確実に固定されているか確認し、必要に応じて補強を行います。草丈が低い野菜類では寒冷紗などで覆い、つる性作物で支柱を倒せるものは倒した後に上から覆うなどした後、飛ばされないように裾をしっかりと固定することも有効です。また、果樹の高接ぎした部分は折れたり裂けることがあるので添え木をするとよいでしょう。さらに、圃場の状況に合わせて土のうを設置（写真2）します。施設では、作物の作付が無い場合はビニール等の被覆資材を直前に除去することも有効です。

写真2　土のうの設置

3　台風通過後の対応

気象状況を十分に確認し、雨や風がおさまるまで、見回りは控えてください。見回りの際は、増水した水路や危険な場所（写真3）には近づかず、転倒、滑落事故にあわないように足下等に注意し、頭上も落下物に注意して慎重に行動してください。

圃場が冠水していれば可能な限り排水に努めてください。また、台風通過後は速やかに殺菌剤を予防散布しましょう。さらに、高温によって日焼けが起きやすくなるので各種資材を活用して遮光を行うことも有効です。

施設では、速やかに施設や機器の点検や修理を行います。また、台風通過後は施設内の温度が急上昇することがあるので、換気などを適切に行いましょう。

写真3　滑落しやすい危険な場所